



足立区議会だより

発行/東京都足立区議会 ☎(3882) 1111 No.127

第 3 回
定例会

RECYCLE PAPER
— 森林資源を大切に —



本会議開会前に行われた議会ミニコンサート

平成2年度3会計決算を認定

歳出決算総額 2,429億7,523万1,237円

暴力団根絶に関する決議を全会一致で可決

会議のあらまし

平成3年第3回定例会は、9月19日から10月24日までの会期36日間で開催されました。今定例会では、平成2年度3会計決算を認定した外、これ以外に区長から提出された45議案、議員提出4議案並びに区民の皆さんから提出された請願・陳情について審議がなされました。結果は本文記載のとおりです。

また、教育委員の任命に同意しました。

区長提案はすべて原案可決

区長提出議案のうち、平成2年度一般会計、国民健康保険特別会計、老人保健医療特別会計の3会計決算については、決算特別委員会を設け審査を付託、それ以外の議案は、それぞれ所管の常任委員会に審査を付託しました。

この結果、3会計決算はいずれも認定、他の議案も原案のとおり可決とする各委員会報告のとおり、本会議で議決されました。

議員提出議案4件を可決

議員から提出された議案は、委員会付託を省略して審議が行われ、東京都足立区議会傍聴規則の一部を改正する規則、治水事業の促進に関する意見書、綾瀬川浄化問題に関する意見書、暴力団根絶に関する決議の4議案を、本会議において、全会一致で可決しました。

(意見書・決議の要旨については8頁に掲載)

教育委員の任命に同意

本年7月から欠員となっていた教育委員に中田貢弘氏を任命するにあたり、区長から議会の同意を求められました。

議会は異議なく、全会一致でこれに同意しました。

委員会の傍聴方法変わる

今議会から、委員会の傍聴方法が変更になりました。今までは、請願・陳情の関係者が、その請願・陳情の審査のみ傍聴できましたが、今後は、関係者以外でも傍聴できます。また、請願・陳情に限らず、議案の審査も傍聴対象になりました。

傍聴できるのは、6つの常任委員会及び交通機関誘致対策特別委員会です。

(委員会傍聴の詳細については8頁に掲載)

主な内容

- 区政を問う(各党・会派の代表質問)……………2～4頁
- 可決した主な議案……………5頁
- みなさんからの請願・陳情……………5頁
- 平成2年度決算審査のあらましと各党・会派の態度……………6～7頁
- 今定例会で可決した意見書・決議(要旨)……………8頁
- 委員会傍聴の変更……………8頁
- 意見の分かれた案件……………8頁
- 本会議議席図……………8頁

各党・会派の代表質問

議案の審議に先立ち、各党・会派を代表する13人の議員が、3日間にわたり、区政全般について質問を行い、区政執行にあたる区長をはじめ執行機関の考えを聞きました。

自由民主党 足立区議団



馬場 繁太郎 議員

新基本構想について伺う

【問】新基本構想が現在審議されているが、次の点を伺う。

①まちづくり産業部会では、夢のような構想が出されているが、早急に対応しなければならぬ提案もある。千住、竹の塚の踏切り問題は重要課題であるが、区は不転軌の決意で事業化する意気込みがあるのか。

②区内鉄道駅に区独自にでもエスカレーターを設置する計画はあるか。また、見通しはどうか。

③竹の塚・池袋間の夢の鉄道構想が取り込まれた。21世紀に向い実現は可能と思うがどうか。

【答】①竹の塚地区については、事業化に向けて平成3年度引き続き詳細な調査を実施していく。千住地区については、当面、常磐新線の都市計画決定に向けてぜひとも高架化を図り、在来線についても、鉄道高架化の方向で取り組んでいく。

②竹の塚駅及び東武北千住駅改良工事の際に設置するよう東武鉄道に働きかけてきた。今後も鉄道駅全てにエスカレーター、エレベーターなどを設置するよう、鉄道事業者に働きかけてまいりたい。

③竹の塚・池袋線については、国・都・鉄道事業者特に計画等があるとは聞いていない。しかし、区民の交通利便性の向上及び区の発展につながるものであり、20年後の足立区の将来像を描く基本構想として、実現に

向け取り組みればと考えている。人を育てる教育への取り組みについて伺う

【問】学校教育、社会教育の両面で、「自己の責任で行動することができる人」を育てるため、区はどのように取り組んでいるのか。

【答】小・中学校段階では、集団や社会とのかかわりを通して自らの役割を自覚し、協力して主体的に責任を果たす心を培い、社会教育においては、社会又は地域社会の中での所属感と役割を自覚することである。

これらの視点に立ち、特に青年の社会参加を積極的に進め、青年が持っている情熱とエネルギーを地域づくりにいかす方向で人材育成を図りたい。



水と緑の公社について伺う

【問】水と緑のうるおいのあるまちづくりをめざして、本年4月に設立された財団法人足立区水と緑の公社について伺う。

①公社の設立目的を明確にせよ。②緑化行政の窓口を一本化して、各々の役割分担を明確にせよ。

【答】①地球環境の保全は、今や世界的な問題としてクローズアップされている。こうした事業を推進するには、区民と一体

となって進める必要がある。そのため、公社は、緑化推進や水質浄化などの調査研究、啓発普及、また自然保護や美化推進団体の援助育成、区の親水施設や緑道などの維持管理、利用促進をも図ってまいりたい。



安達 正興 議員

選挙立合人に若者を登用せよ

【問】選挙は憲法前文にもあるとおり議会制民主主義の原点であるが、若年層の投票促進策として、立合人を法の限度の5名とし、内2名を新有権者か30歳までの男女にお願いしたらどうか。

【答】投票立合人の数をふやして新成人を立合人にした区が何区かあるが、若年者の投票傾向は変化していない。また、最近では立合人をお願いしても断わられてしまう状況にあると聞いており、他区における効果を見守りたい。

他区に先がけて即日開票を実施せよ

【問】ここ数年来足立区の開票作業は手際が良く、立派な成績をあげていると聞いているが、他区に先がけて即日開票に移行できないか。

【答】自治省・都選管等から即日開票への打診があり、現在、都と区市町村の選管で検討会を設置して、問題点や可能性を模

索している。当区においても、現在、早い時期に実施する方向で検討中である。



石川 純 議員

駐車場対策について伺う

【問】駐車場不足が大きな問題になっているが、公有地や都営住宅内の空地等を利用して、一般区民が利用できる駐車場を整備する考えはないか。

【答】都営住宅団地には、従来駐車場は附置されていなかったが、新設団地や既設の団地にも駐車場を整備していく方向であると伺っており、区としても働きかけてまいりたい。

団地内駐車場の一般区民への解放については、むずかしい問題があるが、住宅局と話し合ってみたい。



江北橋防護柵設置について伺う

【問】江北橋には仮の防護柵をつけて頂いたが、その後3年かけて全面改修工事をやると聞いているが、どのようになっているのか。また、歩道をカラー舗装に、橋の高欄を五色桜の絵を入れてつくれないか。

【答】都の計画では、平成3年度に橋梁の劣化防止工事、高欄工事照明設備を、平成4・5年度には防護柵設置工事、歩道の

舗装工事を予定している。これらの施行にあたっては、ブロンズ製の防護柵や御影石やタイル等を用いた舗装など、文化性を考慮した整備を行うと聞いており、ご質問の趣旨を都に要望してまいりたい。



鹿浜 清 議員

資源回収団体に区も奨励金を出し、リサイクル活動を推進せよ

【問】都では現在、集団回収を実践している団体に1kg6円の奨励金を支給しているが、区も1kg4円の奨励金を出し、リサイクル活動を側面から援助してはどうか。

【答】当区では、区民に対する拠点の整備、用具等の貸し出し、再生資源回収業者に対する不採算分の側面支援等を考えている。したがって、報奨金としてはなく、資源化物リサイクルの条件整備の観点から考えていきたい。

空缶プレス機等の機器を増やし区内に細かく配置せよ

【問】団体でも個人でも資源回収事業に参加できるよう、収納容器、空缶プレス機の機器を増やし、住区センターまたは希望する町民館などに細かく配置する考えはないか。

【答】缶プレス機、容器等の貸し出しは、希望する町会・自治会に対し行う。住区センター等の公共施設については、現在使用済み乾電池を回収しているが、管理運営委員会と協議の上、集団回収に適さない資源物等の回収拠点として拡大、整備を図りたい。



白石 正輝 議員

優秀な教員確保のため、待遇改善や制度の改革を図れ

【問】教育の改善は、教員の質の向上につながると思うが、優秀な教員を確保するため、各種の待遇改善政策や報酬制度の改革充実を図る必要があると思うがどうか。

【答】現在、教育の海外事情調査について費用の一部を補助したり、大学派遣研修を積極的に進めたり、教員が足立区に魅力を感じる施策を進めており、さらに一層前向きに取り組んでいきたい。また、今後は厳しい条件のもとで部活動や生徒指導等に当たっている教員に報いる方策を講じたり、福利厚生面からのイメージアップにも努めるなど、より一層の条件整備を検討していきたい。

学区の自由化を検討せよ

【問】各学校の特色を生かし、学校間に競争原理を導入するため、学区の自由化を検討せよ。

【答】小・中学校の学区域については、義務教育の円滑な履行及び教育の機会均等を確保するといった見地から定められている。学区の廃止については困難であるが、ご質問の趣旨を踏まえ、今後ともより良い教育環境の整備に努めてまいりたい。



佐藤 正弘 議員

ボランティア活動活性化のため

【問】現代社会において、ボランティア活動の果たす役割は重要

代表質問

傍聴してみませんか
区議会本会議は公開されています

区政を

性を増している。そこで、ボランティア活動をさらに活性化させるための具体策を伺いたい。

【答】ボランティア活動は、参加する人々の「自発性」が基礎となるものであり、参加への活動の場の提供が具体的な課題である。ボランティア基金の果実を利用した各種講習会の開催や、ボランティアセンターの計画的な整備を図っている。

老人会がボランティア活動に積極的に参加できるようにせよ

【問】高齢化社会の到来は深刻な社会問題となっているが、高

齢者でも健康であれば、同世代の病弱な老人を励ましたり世話したりすることは、大変意義のあることだと思う。そこで、地域の老人会が、ボランティア活動に積極的に参加できるようにすべきと思うがどうか。

【答】老人クラブ指導員を設置して指導にあたるとともに、従来の道路等の清掃、友愛訪問、オムツ作りなどに加え、今年の正月には年賀郵便の配達を試みた。今後も高齢者の配食サービスなど、新しい分野のボランティア活動を指導していきたい。

【問】区民の健康づくりには、啓発活動、組織づくり、施設建設等、数多くの課題がある。これからの区民の健康づくりの施策には区民の協力体制も不可欠であり、各地域ごとに「健康推進員制度」を設けたらどうか。

【答】「足立区健康推進計画」で、地域の健康づくり活動の推進を大きな柱の一つとして位置づけており、効果的な支援体制を構築していきたい。また、健康推進員制度の設置も検討してまいりたい。

これからの福祉行政を進めるための人材確保は大丈夫なのか

【問】今後の福祉行政では人材の確保が重要なポイントである。国や都においても、それぞれ具体的対策を検討する組織をつくり中間報告を発表している。その中で、介護福祉士修学資金の奨学金制度など区でもすぐに取

り組める施策が示されているが、区としては、どのような方策を立てているのか伺いたい。

【答】特別養護老人ホームは、平成7年度までに7ヶ所700定員の予定で建設が進められている。しかし、現状でも自宅待機の人が多く、今後生じる入居希望者等も考えれば、区の計画では不

分と思われるがどうか。

【答】特別養護老人ホームは、福祉総合計画に基づき平成7年度までに7ヶ所の建設を目標としている。今後の入所需要については、在宅福祉の充実との関係もあり、その動向にも充分配慮しながら、必要な場合は計画の見直しも検討していく。

高齢者住宅改善事業を拡充せよ

【問】今年度実施された高齢者住宅改善事業は、区民の好評を得ている。さらに、居室の改造や高齢者を抱える一般世帯への適用など助成の枠を広げてはどうか。

【答】この事業は、在宅福祉を進める上で重要である。今後、ご指摘の方向で拡充を図りたい。

老人クラブの活動に、配食サービスを取り入れてはどうか

【問】一部の老人クラブで寝たきりの方などに、時折食事を用意して地域の方々に大変喜ばれているとのことだが、今後このサービスを全区的に取り入れてはどうか。

【答】老人クラブ活動については、今年度より老人クラブ指導員を設置するなどして、その活動を推進している。配食サービス等の新分野への奉仕活動についても、今後検討してまいりたい。

千住地域の駐車場に「レシートバック方式」を導入されたい

【問】公共施設や銀行等の駐車場を土・日曜日に借り上げ、指定された駐車場ならどこでも利用でき、しかも、買物額に応じた一定時間の駐車料金が無料になる「レシートバック方式」を導入してはどうか。特に、千住地域では商店街の活性化と駐車場対策という両面での効果が期待できるので検討されたい。

【答】現在、駐車場不足問題について、公共施設・銀行等の駐車場の有効活用を検討している。これらを、土・日曜日に開設する場合は、ご指摘のような方法が、利用効率・商業振興に効果的と思われるので、関係機関に積極的に働きかけたい。

千住地域の混雑緩和のため、駐車場案内システムを導入せよ

足立区も非核・平和都市宣言を行うべきではないか

【問】区内でも戦争を知らない世代が62%を占める時代となった。戦争体験を風化させることがあってはならず、今こそ平和への活動を進めるべきだと思ふ。先般、都知事が「非核都市宣言」に積極的に取り組むと表明したが、区長はどう評価するか。また、当区でも同趣旨の宣言を行う考えはないか。

【答】東京都において、そのような動きがあったと聞いているが、まだ確定ということではないとも聞いている。21世紀に向けて、区民の一人ひとりが平和で安全で健康に暮らせる足立区を、いかに現実のものとしていくかが区行政の基本であると考えており、検討していきたい。

各地域において健康を推進する制度をとり入れよ

【問】区民の健康づくりには、啓発活動、組織づくり、施設建設等、数多くの課題がある。これからの区民の健康づくりの施策には区民の協力体制も不可欠であり、各地域ごとに「健康推進員制度」を設けたらどうか。

【答】「足立区健康推進計画」で、地域の健康づくり活動の推進を大きな柱の一つとして位置づけており、効果的な支援体制を構築していきたい。また、健康推進員制度の設置も検討してまいりたい。

これからの福祉行政を進めるための人材確保は大丈夫なのか

【問】今後の福祉行政では人材の確保が重要なポイントである。国や都においても、それぞれ具体的対策を検討する組織をつくり中間報告を発表している。その中で、介護福祉士修学資金の奨学金制度など区でもすぐに取

り組める施策が示されているが、区としては、どのような方策を立てているのか伺いたい。

【答】特別養護老人ホームは、平成7年度までに7ヶ所700定員の予定で建設が進められている。しかし、現状でも自宅待機の人が多く、今後生じる入居希望者等も考えれば、区の計画では不

分と思われるがどうか。

【答】特別養護老人ホームは、福祉総合計画に基づき平成7年度までに7ヶ所の建設を目標としている。今後の入所需要については、在宅福祉の充実との関係もあり、その動向にも充分配慮しながら、必要な場合は計画の見直しも検討していく。

高齢者住宅改善事業を拡充せよ

【問】今年度実施された高齢者住宅改善事業は、区民の好評を得ている。さらに、居室の改造や高齢者を抱える一般世帯への適用など助成の枠を広げてはどうか。

【答】この事業は、在宅福祉を進める上で重要である。今後、ご指摘の方向で拡充を図りたい。

老人クラブの活動に、配食サービスを取り入れてはどうか

【問】一部の老人クラブで寝たきりの方などに、時折食事を用意して地域の方々に大変喜ばれているとのことだが、今後このサービスを全区的に取り入れてはどうか。

【答】老人クラブ活動については、今年度より老人クラブ指導員を設置するなどして、その活動を推進している。配食サービス等の新分野への奉仕活動についても、今後検討してまいりたい。

千住地域の駐車場に「レシートバック方式」を導入されたい

【問】公共施設や銀行等の駐車場を土・日曜日に借り上げ、指定された駐車場ならどこでも利用でき、しかも、買物額に応じた一定時間の駐車料金が無料になる「レシートバック方式」を導入してはどうか。特に、千住地域では商店街の活性化と駐車場対策という両面での効果が期待できるので検討されたい。

【答】現在、駐車場不足問題について、公共施設・銀行等の駐車場の有効活用を検討している。これらを、土・日曜日に開設する場合は、ご指摘のような方法が、利用効率・商業振興に効果的と思われるので、関係機関に積極的に働きかけたい。

千住地域の混雑緩和のため、駐車場案内システムを導入せよ

日本共産党足立区議団

渡辺 修次 議員

【問】児童館・学校給食等の事業を直営に戻し、公的責任を果たせ

【問】児童館・学校給食・学校給食の事業は、子供の教育の一環であり、本来民間委託等の発想は生まれないはずである。

最近、住区センターでは指導員の確保が困難になるなど数多くの問題があり、大きな事故が起きていないから委託継続という姿勢では、子供はまさに犠牲者である。地方自治体としての公的責任を果たす上からも、財政

【問】区民の健康づくりには、啓発活動、組織づくり、施設建設等、数多くの課題がある。これからの区民の健康づくりの施策には区民の協力体制も不可欠であり、各地域ごとに「健康推進員制度」を設けたらどうか。

【答】「足立区健康推進計画」で、地域の健康づくり活動の推進を大きな柱の一つとして位置づけており、効果的な支援体制を構築していきたい。また、健康推進員制度の設置も検討してまいりたい。

これからの福祉行政を進めるための人材確保は大丈夫なのか

【問】今後の福祉行政では人材の確保が重要なポイントである。国や都においても、それぞれ具体的対策を検討する組織をつくり中間報告を発表している。その中で、介護福祉士修学資金の奨学金制度など区でもすぐに取

り組める施策が示されているが、区としては、どのような方策を立てているのか伺いたい。

【答】特別養護老人ホームは、平成7年度までに7ヶ所700定員の予定で建設が進められている。しかし、現状でも自宅待機の人が多く、今後生じる入居希望者等も考えれば、区の計画では不

分と思われるがどうか。

【答】特別養護老人ホームは、福祉総合計画に基づき平成7年度までに7ヶ所の建設を目標としている。今後の入所需要については、在宅福祉の充実との関係もあり、その動向にも充分配慮しながら、必要な場合は計画の見直しも検討していく。

高齢者住宅改善事業を拡充せよ

【問】今年度実施された高齢者住宅改善事業は、区民の好評を得ている。さらに、居室の改造や高齢者を抱える一般世帯への適用など助成の枠を広げてはどうか。

【答】この事業は、在宅福祉を進める上で重要である。今後、ご指摘の方向で拡充を図りたい。

老人クラブの活動に、配食サービスを取り入れてはどうか

【問】一部の老人クラブで寝たきりの方などに、時折食事を用意して地域の方々に大変喜ばれているとのことだが、今後このサービスを全区的に取り入れてはどうか。

【答】老人クラブ活動については、今年度より老人クラブ指導員を設置するなどして、その活動を推進している。配食サービス等の新分野への奉仕活動についても、今後検討してまいりたい。

千住地域の駐車場に「レシートバック方式」を導入されたい

【問】公共施設や銀行等の駐車場を土・日曜日に借り上げ、指定された駐車場ならどこでも利用でき、しかも、買物額に応じた一定時間の駐車料金が無料になる「レシートバック方式」を導入してはどうか。特に、千住地域では商店街の活性化と駐車場対策という両面での効果が期待できるので検討されたい。

【答】現在、駐車場不足問題について、公共施設・銀行等の駐車場の有効活用を検討している。これらを、土・日曜日に開設する場合は、ご指摘のような方法が、利用効率・商業振興に効果的と思われるので、関係機関に積極的に働きかけたい。

千住地域の混雑緩和のため、駐車場案内システムを導入せよ

日本共産党足立区議団

藤崎 貞雄 議員

【問】千住地域は今後も、総合文化センター建設・デパート誘致等で交通量の増加は明白である。そこで、不特定多数の車利用者の受け入れ促進を円滑に進めるため、駐車場案内システムを導入してはどうか。

【答】千住地域を含め、一時預かり駐車場は絶対量が不足している。当面は、量的整備を図るとともに、駐車場案内システムの導入も検討し、駐車場の有効活用を推進していきたい。

本庁舎の跡利用等を含め千住全体の施設計画をどう進めるのか

【問】本庁舎及び学校跡地利用計画は、千住地域活性化のカギを握る重要な課題である。区は千住全体の施設計画をどう進めるのか伺いたい。

【答】生涯学習センター、商工センター、新中央図書館、総合文化センター等が考えられているが、これらの施設を千住地区活性化の核と位置づけ、複数の拠点づくりを計画していきたい。

効率偏重を改め、これらの事業を直営に戻すよう求める。

【答】警備の機械化・学校給食の民間委託等を、区民と区議会のご協力により推進してきた。これは、公的責任の放棄でなく民間活力導入により効果的・効率的な財政運営を図り、住民サービス向上に努めるためである。交通網の整備を推進せよ

【問】非常に交通過疎の当区にも、やっと舎人・常盤の2本の新線が具体化した。鉄道誘致には莫大な予算と年月を要するが調査費を計上した環七沿いの

路線等、実現可能性の高いところから住民とともに誘致運動を起こすべきと思うがどうか。

【答】交通過疎解消をめざし、舎人新線・常磐新線の早期実現など交通機関網の整備を積極的に進めている。足立区の総合的な交通網整備の中で、環七沿いの東西交通網整備や千代田線北綾瀬駅以北の延伸等についても検討していきたい。

プライバシー保護のための「個人情報保護条例」を制定せよ

【問】区はあらゆる分野にわたって電算化を進めており、区民のすべての情報が区に入力されているともいえるような現況において、既存の「電子計算組織に係わる個人情報の保護に関する条例」では、プライバシーの保護が不十分である。もっと総合的なプライバシー保護のための「個人情報保護条例」を制定せよ。

【答】現在のような高度情報化社会では、情報は区民に多くの利便をもたらす反面、個人情報 が本人の知らぬ間に使用される など様々な問題も含んでいる。よって、総合的な「個人情報保護制度」の確立に向けて、区としても検討を開始したところである。

放置自転車の撤去料徴収という権力的行政は改善せよ

【問】交通不便な当区にとって自転車は不可欠な交通手段であり、駐輪場不足のためやむなく放置している現状を、罰金をとることで解決しようとする現行制度について次の改善を求める。
①駐輪場整備まで撤去料廃止
②土・日・祭日及び平日午後8

時まで引き渡し時間を延長
③引き取り手のない自転車は廃棄せりサイクルで活用

【答】①撤去料の徴収で放置台数は減少しているし、撤去費用の原因者負担は、公平の原則にも資するものであり、撤去料廃止は考えていない。②10月1日から現行より4時間延長し午前9時から午後6時までとした。③区内自転車小売商組合と協議を進める等、広くりサイクルの可能性を検討していく。



大森 健司 議員

生涯学習施策のあり方について問う

【問】現在足立区では、昨年3月の「足立区生涯学習推進計画」に沿った生涯学習施策が進められている。しかし、この計画は社会教育に関する法体系を無視し、これまで社会教育関係者が積み重ねた努力を切り捨ててのだ。生涯教育づくりの基本である社会教育の発展・充実をめざすべきである。また、社会教育関係法の精神には従うのか。

【答】生涯学習推進計画では、家庭教育・学校教育・社会教育職能教育など、生涯学習のトータルシステムについて述べるとともに、社会教育の一層の充実に ついても明記してある。また、この計画は基本構想に基づくもので、その中で憲法に従うと明言しており、この計画による施策は、憲法・教育基本法等の精神に従って行うものである。

文化会館の廃止撤回を求める

【問】生涯学習の大切さを示す一方で、新庁舎建設のためだけ

らと、文化会館を廃止するのは納得がいかない。文化会館の廃止の撤回、総合文化センターの建設こそが「生涯学習都市・足立」の行政の責務であると思うがどうか。

【答】文化会館の廃止は、第2回定例会で議決・承認されているので撤回の意思はない。廃止後の代替施設については、十分利用していただける施設を用意させていただく。



図書館における視聴覚資料の充実に取り組む

【問】CD保有枚数は千6百枚で、23区最低である。地域館での貸し出しを実施している区も半数以上ある。保有ワースト1を返上し地域館での貸し出しを実施できるように、1館あたり千枚のCDを購入してほしい。また、ビデオライブラリーの新設と貸し出しも実施すべきと思うがどうか。

【答】全地域図書館でCDを収集するのは各館のスペースの制約もあり困難なので、中央館のCDコレクションを充実させ、相互貸借による地域館貸し出しを検討していく。また、ビデオライブラリー新設については、新中央図書館の機能の一つとして、社会教育委員会議で検討願っている。

日本社会党 足立区議団



野中 栄治 議員

5年間で職員定数を10%削減する根拠を示せ

【問】平成4年度の組織・定数管理方針では、向う5年間で10%の定数削減を行うとしているが、平成7年度までの行財政運営方針が具体的に示されないままでは、検討のしようがない。今、財政運営の健全化の裏に人件費の抑制ありきではなく、いかなる行政を進めるかが求められていると思うが、10%削減の根拠を示せ。

【答】これまでは、技能労務系職員の退職不補充、民間活力の導入、児童・生徒数の減に伴う職員の減員等により定数を減らしてきたが、一方で重点課題の実現を図るべく、事務系・技術系職員のかんりの増員を行ってきた。ご指摘のような発想ではなく、社会情勢の変化に対応して、全庁的に定数の適正化を検討するものである。

（仮称）「産業振興・まちづくり株式会社」の設立について問う
【問】第三セクター方式により、（仮称）「産業振興・まちづくり株式会社」を設立すると聞き及んでいる。出資者として区振連が予定されているが、単位商店街から出資申し出があった場合、区はどのように調整するのか。また、出資予定者に中小企業者大企業が入っているが、その業種はいかなるものか。

【答】会社設立時のいわゆる法人基盤出資に関しては、区振連

足立区民連合



中川 外行 議員

区指定金融機関の金融不祥事に 対する対応について問う

【問】当区の指定金融機関である富士銀行が、金融不祥事を起こした。これに対して、区はどのように対応するつもりか。

【答】今回の不正融資をはじめとする富士銀行の不祥事については、誠に遺憾であり、区民の信頼関係に思いをいたす時、大変残念なことと言わざるをえない。区としては、先般文書により指定金融機関である千住支店に対し、責任を十分自覚され、信頼に應えるよう強く要請し、また、公金の収納及び支払い事務並びに預金状況を検査し、適正であることを確認した。なお、富士銀行頭取から、陳謝の意と防止措置、改善についての文書が提出されている。



土地開発公社の今年度の買収目標と資金計画について問う

【問】道路、公園、公共施設をつくる土台になるのは土地である。今はこれらの土地を取得するチャンスだと思うが、土地開発公社における今年度の買収予定目標と資金計画はどうか。

【答】平成3年度の買収予定目

標は、現在区が取得を依頼した事業用地92件、約16万㎡のうち、4万9千㎡を年度内に取得するよう努力している。

これに要する経費は、約300億円が見込まれるが、この資金計画としては、年度当初に予定した150億円の協調融資銀行からの借り入れに加え、さらに100億円の協調融資銀行からの追加借り入れと、区からの50億円の借り入れを予定している。

学校教育における教師の指導方法について問う

【問】教育は事実だけを教えるのではなく、その背景を教えることが大切である。各々の教師が、この度のソ連の政変をどのように受け止め、どのように工夫して教えるかによって、児童・生徒の理解のしかたが異なると思う。区は教師をどのように指導するのか。また、その指導する統一性をどう保つのか。

【答】現代史や世界情勢については、教員の歴史観や思想等によって、見方や判断が異なる指導が行われることは好ましくない。しかも、小・中学校では、児童・生徒の発達段階から、「なぜ」について深入りにくい部分でもある。教員は自らの考えを教えるのではなく、事実を基に児童・生徒が自分自身で考え、まとめていく力を身につけさせることが大切である。小・中学校の指導計画作成資料を作成してその周知に努めるとともに、教務主任や学年主任等の研修会を通して指導していく考えである。

可決した主な議案

予算・決算

平成2年度足立区一般会計歳入歳出決算
平成2年度足立区国民健康保険特別会計歳入歳出決算
平成2年度足立区老人保健医療特別会計歳入歳出決算
平成3年度足立区一般会計補正予算（第1号）
歳入歳出予算の総額に80億9千133万7千円を追加し、予算総額を、1千934億8千933万7千円とするもの。
〔主な事業〕▼老人性白内障人工水晶体助成費、（仮称）東綾瀬公園プール・アイススケート場建設費、竹の塚温水プール改築費などを内容としたもの。〕

条例の制定・改正

足立区監査委員条例の一部を改正する条例
地方自治法の改正に伴い、常勤の監査委員を1名置くもの。
足立区議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例
区議会議員の日額旅費の支給額を引き上げるもの。
足立区行政委員会の委員及び非常勤の監査委員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
委員の日額旅費の支給額を引き上げるほか、規定を整備するもの。
足立区特別職報酬等審議会条例

の一部を改正する条例

所掌事務に常勤の監査委員に
関することを加え、委員の任期
及び招集権者を定めるもの。
足立区産業振興館条例の一部を
改正する条例
足立区産業振興館の暖冷房設
備の使用料を無料とするもの。
足立区難病患者福祉手当条例の
一部を改正する条例
難病を有する者の福祉の増進
を図るため、支給対象疾病に「進
行性核上性麻痺」、「特発性大腿
骨頭壊死症」を加えるもの。
足立区住宅改良助成条例の一部
を改正する条例
共同住宅における共用部分の
助成拡充を図るほか、規定の整
備をするもの。
足立区立児童遊園条例の一部を
改正する条例
島根第四児童遊園を廃止し、
扇一丁目親栄児童遊園を設置す
るもの。
足立区議会傍聴規則の一部を改
正する規則
議会傍聴に関する規定の整備
をするもの。

請負契約

①金額②相手方（JV）共同企業
体）③方法（無記載）指名競争
入札）
補助295号線新芝川橋梁建設工事
その8 ①6億1千388万円②川
田・内田建設JV
新芝川護岸改修工事 ①3億8
千676万5千円②清水・新井建設
JV

綾瀬一丁目付近枝線その7工事
及び掘削復旧工事ならびに歩道
設置工事 ①1億2千51万円②
三共田中建設㈱
佐野二丁目付近枝線その3工事
及び掘削復旧工事ならびに歩道
設置工事 ①8千909万5千円②
鹿島舗道建設㈱

赤山街道整備工事その2ならび
に伊興町前沼、伊興五丁目付近
枝線工事及び掘削復旧工事 ①
17億259万円②伊藤・大昌建設JV
竹の塚駅東口広場改良工事その
2 ①2億6千883万円②清水・
内田建設JV③随意契約
コミュニティ道路設置工事 ①
2億8千634万円②大都工業㈱東
京支店③随意契約
谷中一丁目付近枝線その2工事
ならびに歩道設置工事 ①2億
1千166万5千円②大昌建設㈱
伊興四・五丁目付近枝線工事及
び掘削復旧工事 ①6億5千508
万円②竹内・新井建設JV
伊興四丁目付近枝線その2工事
①1億9千673万円②白石・新
井建設JV③随意契約
足立区立都市提携記念生物園
（仮称）建設工事その2 ①12億
5千969万円②浅沼・渡喜建設JV
③随意契約
足立区立都市提携記念生物園
（仮称）建設工事その3 ①1億
3千596万円②和光・戸澤建設JV
足立区立都市提携記念生物園
（仮称）建設工事その4 ①2億
5千235万円②塩谷・水工房建設
JV
（仮称）足立区営本木一丁目コミ
ュニティ住宅新築工事 ①2億
1千218万円②田中建設工業㈱
足立区那須区民保養所（仮称）
新築工事 ①15億7千384万円②

戸田・東武建設JV
足立区那須区民保養所（仮称）
新築機械設備工事 ①5億2千
530万円②日新・杉山建設JV
足立区那須区民保養所（仮称）
新築電気設備工事 ①3億6千
50万円②大手・三浦建設JV
足立区立千寿本町小学校新築機
械設備工事 ①6億1千800万円
②東芝・関冷建設JV
足立区立千寿本町小学校新築電
気設備工事 ①3億900万円②開
発・三浦建設JV
科学展示品製造 ①7億2千100
万円②㈱丹青社③随意契約

契約の変更

扇一丁目付近枝線その4工事
1億4千626万円→1億4千913
万3千700円
①金額②相手方③方法
プラネタリウム買入れ ①5億
5千620万円②㈱五藤光学研究所
③随意契約
校内放送放映用テレビ買入れ
①4千547万1千410円②㈱鈴木電
気商会③指名競争入札
その他の議案
荒川千住新橋緑地（左岸）の高
水敷造成及び低水護岸の工事施
行に関する協定

購入契約

①金額②相手方③方法
プラネタリウム買入れ ①5億
5千620万円②㈱五藤光学研究所
③随意契約
校内放送放映用テレビ買入れ
①4千547万1千410円②㈱鈴木電
気商会③指名競争入札
その他の議案
荒川千住新橋緑地（左岸）の高
水敷造成及び低水護岸の工事施
行に関する協定

みなさんからの 請願・陳情

①協定金額（概算） 3億2千
500万円 ②協定の相手方 建
設省関東地方建設局 ③工期
平成3年10月～平成5年6月
損害賠償の額の決定
栗原三丁目28番、栗原四丁目3
番の東京都市計画道路補助線街
路第258号線街路事業に際し、地
盤がゆるみ家屋に損害を与えた
ことに係る損害賠償の額（2件
47万7千215円）を決定するもの。
○足立区の学童保育行政に関す
る陳情
直営児童館、学童保育室を住
区センター化しないこと、住区
センター職員の待遇改善、保
護者負担金の取り扱いの改善、非
常災害時における有効な対応が
できる体制の確立を求めたもの。
○老人保健法等に関する陳情
老人保健法改正をしないこと、
看護婦、家庭奉仕員的大幅増員、
保健・医療・福祉サービスの充
実を関係機関に働きかけるよう
求めたもの。
○無認可保育所の助成に関する
請願
無認可保育所と家庭福祉員に
預けられている子供の助成金を
同額にすること、入園時の園児
について健康診断費の支給をす
るよう求めたもの。
○原爆被害者援護法即時制定の
促進決議と国への意見書採択に
関する陳情
原爆被害者援護法制定の促進
を求める決議を採択し、関係機
関への意見書提出を求めたもの。
○足立区の全ての小、中学校に
栄養士を配置させる請願
栄養士全校配置の早期実現を
関係諸機関へ要望し、当面未配
置校に区費で栄養士を配置する
よう求めたもの。

継続審査にしたもの

○粗大ゴミ収集無料要請に関す
る陳情
粗大ゴミ収集無料化を関係機
関に要請するよう求めたもの。
○西伊興児童館の存続に関する
陳情
西伊興住区センターの開設に
より、平成4年3月で廃館予定
の西伊興児童館の存続を求めた
もの。
○足立区の学童保育行政に関す
る陳情
直営児童館、学童保育室を住
区センター化しないこと、住区
センター職員の待遇改善、保
護者負担金の取り扱いの改善、非
常災害時における有効な対応が
できる体制の確立を求めたもの。
○老人保健法等に関する陳情
老人保健法改正をしないこと、
看護婦、家庭奉仕員的大幅増員、
保健・医療・福祉サービスの充
実を関係機関に働きかけるよう
求めたもの。
○無認可保育所の助成に関する
請願
無認可保育所と家庭福祉員に
預けられている子供の助成金を
同額にすること、入園時の園児
について健康診断費の支給をす
るよう求めたもの。
○原爆被害者援護法即時制定の
促進決議と国への意見書採択に
関する陳情
原爆被害者援護法制定の促進
を求める決議を採択し、関係機
関への意見書提出を求めたもの。
○足立区の全ての小、中学校に
栄養士を配置させる請願
栄養士全校配置の早期実現を
関係諸機関へ要望し、当面未配
置校に区費で栄養士を配置する
よう求めたもの。

取り下げられたもの

○白内障手術による「人工水晶
体」の費用助成に関する請願
○ルナマンション西新井（仮称）
の建設改善に関する請願
新たに提出されたもの
○足立区の保育・児童福祉の充
実、および職員の待遇改善に関
する請願
○義務教育費国庫負担法改正反
対に関する請願

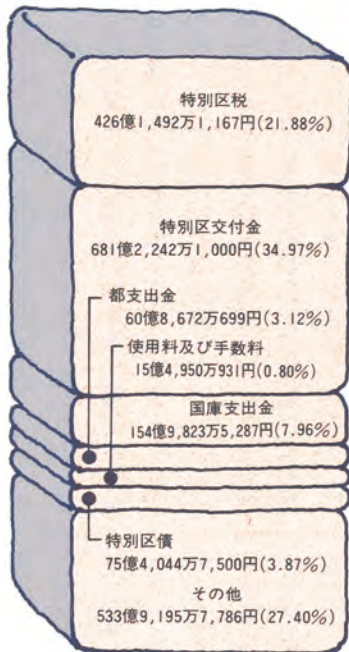
平成2年度各会計決算のあらましと各党・会派の態度

平成2年度各会計決算

一般会計

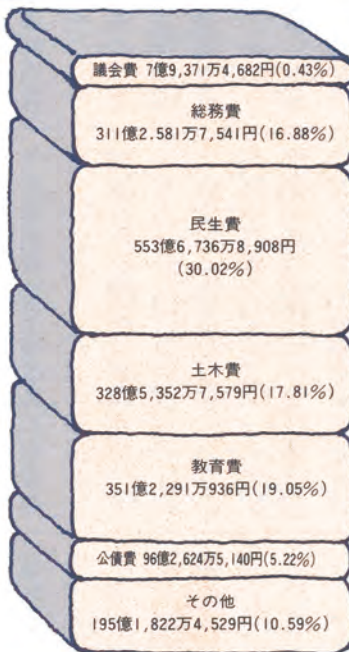
〔歳入の部〕

1,948億420万4,370円(100%)



〔歳出の部〕

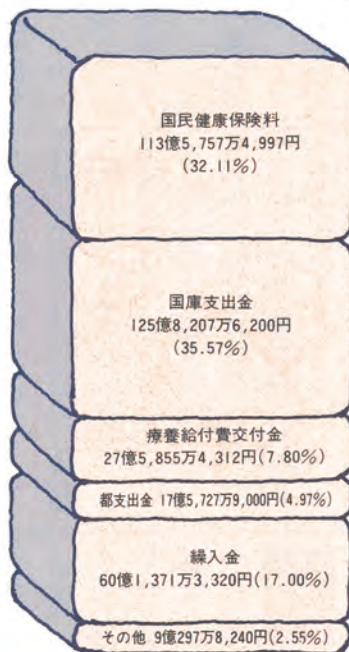
1,844億780万9,315円(100%)



国民健康保険特別会計

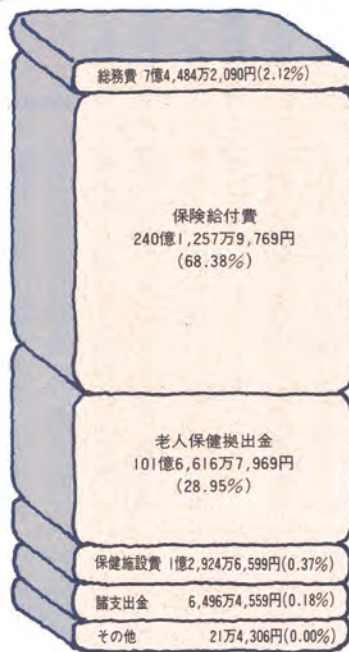
〔歳入の部〕

353億7,217万6,069円(100%)



〔歳出の部〕

351億1,801万5,292円(100%)



〔歳入の部〕

238億1,876万1,483円(100%)

老人保健医療特別会計

〔歳出の部〕

234億4,940万6,630円(100%)

審査の経過



委員長に齊藤八郎議員、大島芳江議員を選任、6日間の審査日程を決定し、引き続き議案の審査に入りました。

平成2年度区政の概要

平成2年度は、ソ連・東欧の経済改革、東西ドイツの統一、湾岸危機と世界経済を激動させる出来事が続き、アメリカなどで景気後退が見られたが、国内においては、昭和61年11月に端を発した景気上昇局面が、昭和62年と拡大テンポの減速をみながらも拡大を続けた年であった。

決算特別委員会を設置

今定例会に、平成2年度一般会計、国民健康保険特別会計、老人保健医療特別会計の3会計歳入歳出決算の認定を求める議案が区長から提出されました。

議会はこれを審査するため、委員28名で構成する決算特別委員会を設置し、議案の審査を付託しました。

委員会は決算審査に先立ち、正・副委員長の互選、審査日程等委員会運営について協議を行い、委員長に田中章雄議員、副委員長に...

委員長の齊藤八郎議員、大島芳江議員を選任、6日間の審査日程を決定し、引き続き議案の審査に入りました。

平成2年度は、ソ連・東欧の経済改革、東西ドイツの統一、湾岸危機と世界経済を激動させる出来事が続き、アメリカなどで景気後退が見られたが、国内においては、昭和61年11月に端を発した景気上昇局面が、昭和62年と拡大テンポの減速をみながらも拡大を続けた年であった。

主な質疑項目

このような状況を踏まえ、委員会の質疑は決算全般にわたって行われましたが、特に都区制度改革と財政調整制度との関係や、バブル経済崩壊の区への影響、指定金融機関の不祥事への対応等、当区をめぐる財政運営の諸問題に関するもの。豪雨に伴う河川の洪水・内水対策や災害時の医療体制、応急小口資金貸付等防災及び罹災者救済に関するもの。特養ホーム増設や在宅介護支援センター設置、家事援助者派遣事業等、高齢化社会に向けた福祉・衛生施策に関するもの。学校統廃合、千住庁舎移転に伴う跡地利用や再開発事業、駐車・駐輪場対策、鉄道立体交差事業等、まちづくり及び都市基盤整備に関するもの。児童文化センター建設や放送大学の誘致、不登校児対策等、教育施策に関する質疑等がありました。

一方、区政においては、東部障害福祉総合センターの完成、区内で4番目の特養ホーム「扇」の建設着手等、福祉総合計画を着実に進め、荒川千住新橋緑地「虹の広場」の完成や、日光林間学園の改築等ハード面の整備に加え、産業振興の核となる産業情報室の設置、障害児・ねたきり老人の歯科診療事業実施や生きがい奨励金の支給等、「人生80年社会のしくみづくりとまちづくり」の早期実現に向け、様々な施策が行われた。

審査の結果

10月9日全ての質疑を終り、各党各会派から決算に対する意見及び要望(次頁にその要旨を掲載)が述べられた後、直ちに採決が行われました。

結果は、一般会計、国民健康保険特別会計は賛成多数により認定、老人保健医療特別会計は全員一致で認定と決しました。

この結果は、委員長から10月24日の本会議に報告され、いずれも委員会報告のとおり、認定の議決をいたしました。

このような状況を踏まえ、委員会の質疑は決算全般にわたって行われましたが、特に都区制度改革と財政調整制度との関係や、バブル経済崩壊の区への影響、指定金融機関の不祥事への対応等、当区をめぐる財政運営の諸問題に関するもの。豪雨に伴う河川の洪水・内水対策や災害時の医療体制、応急小口資金貸付等防災及び罹災者救済に関するもの。特養ホーム増設や在宅介護支援センター設置、家事援助者派遣事業等、高齢化社会に向けた福祉・衛生施策に関するもの。学校統廃合、千住庁舎移転に伴う跡地利用や再開発事業、駐車・駐輪場対策、鉄道立体交差事業等、まちづくり及び都市基盤整備に関するもの。児童文化センター建設や放送大学の誘致、不登校児対策等、教育施策に関する質疑等がありました。

策に関する質疑等がありました。

決算に対する評価

平成2年度は区長就任10年目の年であり、区長は、これまでの行財政の体質強化をバネに、生き生きとした地域社会の建設と迫り来る高齢化社会を強く意識して予算編成を行い、民間活力の導入、公社の活用及びOA化の推進に努めたと述べている。

このような方針に基づいて執行された結果、一般会計は、歳入で千948億円、収入率百2・4%となり、収支の均衡を示す実質収支比率が7%、また、財政の弾力性、健全性を示す経常収支比率は64・9%であり、引き続き健全な財政運営が図られていることは高く評価できるとする意見が大勢でありました。

しかし一方で、人件費削減、公的責任放棄の民間委託を推進することで意図的に作り出した財政の健全化であり容認できないとの意見もありました。

また、決算説明資料については、事業執行の効果、不用額の理由等がわかるような工夫をといった要望もありました。

自由民主党足立区議団

認定

効率的な行政運営、財政の健全化を評価、今後も一層の努力を望む

自民党は責任政党として、財政の健全運営、財源確保、事務事業の見直し、不正受給者の撤廃、無駄の無いより効率的な行政運営を主張してきた。都心区に比して未だ行政需要の山積するわが区にあって、今決算は収入率百2・4％で、財源確保に行政の努力が認められる。歳出についてみても、前年度比百11億円余の増で、区民要望を満たすため多くの施策が展開されたことを示している。実質収支は83億円余の黒字となったが、黒字額については、今後より計画的な執行を望む。

内訳を見ると、投資的経費の決算額は、都市基盤整備に力を注いだ結果であり、積立金は6基金から42億円余の取りくずしを行い、その有効性が図られた。今後とも足立区の根幹をなす大事業のスムーズな進捗のため、目的を持った積立が必要であり、長期計画のもと予定額を明示し明快な運用が望まれる。

竹の塚、北千住の大踏切高架化には、引き続き全力で取り組むよう要望する。西新井大師駅のエスカレーター建設実現には、他の区内駅も含め努力されたい。千寿旭小跡、本庁舎跡建替等設計画を急ぎ示されたい。区立幼稚園存続の意義、登校拒否児対策、高齢者医療システムの充実に努められたい。細街路整備助成については、区道整備、街づくりの伸展を期す目標から、事業推進に思いきった施策を取り入れること。都道計画路線の事業化へは区内事情を勘案し、重点地区を設けてその実現を図ること。住区センター学童保育に関して、わが党は住民の善意による地域のコミュニティ促進政策を支持している。

本委員会における自民党委員の提言・提案は、納税者が納得し真の困窮者への温かい政策をとる熱意ある正義の提言である。このことに行政当局は思いをいたし、今後とも一層の努力を心より期待し討論を終る。

足立区議会公明党

認定

自主財源確保を推進して盤石な財政基盤を作り、区民の声に応えよ

平成2年度の歳入は、区民税の堅調な伸びに支えられ順調に推移したといえるが、バブル経済の破綻に伴う企業収益の悪化が今後の国家財政・都財政に深刻な影響を与えることが予想される。国庫支出金・都支出金・財政調整交付金が減額されても対応できる財政基盤の確立が求められており、そのためには、自主財源確保の継続的努力、収入未済・不納欠損に対する、より適切な措置が必要である。

次に、歳出に関しては、主権者である区民の税金が、いかに効率的に、区民の要望に従って使われたかがポイントとなる。

福祉施策では、特養ホーム不足、家庭奉仕員の増員要望、保育行政のあり方、精神障害者対策などの問題点が、まちづくり施策では、都市計画道路の整備、常磐新線・舎人新線の促進、千住地区の再開発などの問題点が提起された。このほか、わが党委員から提示された数多くの課題・提言・要望については、区民各層からのナマの声として受けとめられ、区民の期待に十分応えられるよう強く求めるものである。

また、区の財産、運用基金についてはどうしてもふれておかなければならない。基金の積立にはそれぞれ目的があり、足立区の将来の継続的な発展には欠くことができないものであると思うが、75億円余という巨額な積立て額になったからには、その妥当性について区民にもっとわかりやすく説明すべきであり、善処を要望する。

最後に、決算審議そのものの問題として、執行機関と議会の関係において、本来、より決算を重視すべきである」との、わが党のかねてからの主張に基づいて、次の決算審議では行政執行の効果の明示、不用額の性格別仕分け、予算流用の内訳等についての提示を強く求めるものである。

日本共産党足立区議団

反対

老人保健医療特別会計は

認定

職員削減と民間委託方針を撤回し住民自治の立場で区政運営を行え

本決算は、経常収支比率64・9％を示し、健全財政を堅持したと自画自賛しているが、これは依命通達に基づき、人件費削減、公的責任を放棄した民間委託・公社化・住民委託を推進する中で、義務的経費を抑えこむことで意図的につくり出した財政の健全化である。

また、この1年間の積立金は約190億円で、90年度末の積立累計は79億7千万円余に達し、全国一となっている。

質疑の中で明らかのように、退職不補充による職員削減は、多くの問題を引き起こしている。家庭奉仕員が削減され、家事援助者派遣の介護券さえも減らされている。学校給食の調理士は高齢化し、健康破壊が進んでいる。また、何でも公社と言われるように、民間委託が拡充される中で、住区センターではボランティア指導員が一人もいなくなる、あいあい公社では援助協力員の3分の1がやめるなど、これらの制度的欠陥は明白である。

まちづくり公社は、区施設の営繕に対する法規制をのがれるための隠れ蓑に過ぎず、文化スポーツ公社も、もっぱら人件費を低く抑える効率化のもとで、職員の専門性が生かされず、住民サービスの質を低下させている。

予算がたっぷりあるのに、高齢者や生活保護世帯の入浴券、公害患者や障害者に対する施策には背を向けたままである。

その一方で、庁舎建設を強引に進め、大企業デベロッパーによる大規模開発には予算をふんだんに使っている。区民サービスの基本は職員であり、削減方針は撤回すべきである。

国保会計では、保険料が値上げされ区民生活に圧迫している。毎年黒字が続く中で、傷病手当金すら検討していないのは怠慢である。

以上、区長はわが党の指摘を謙虚に受けとめ、住民自治の立場に立ち返って区政運営を改めるよう要求して討論を終る。

日本社会党足立区議団

認定

良好な財政水準の維持は評価するが経営主義的財政運営は是正せよ

近年の困難な諸条件の中であって、3会計ともに積極的に運営・執行されており、その結果として、普通会計において実質収支比率及び経常収支比率ともに良好な水準を維持することができた。

また、施策の面においては、産業振興、まちづくり、勤労者福祉の充実、特養ホームの建設、駐車場対策の推進、ゴミ・リサイクルの推進など、各方面での努力を評価するものである。

本決算については、全体として前向きに受けとめるものであるが、決算特別委員会における質疑においても指摘したように、これ以上の区民不在の経営主義的な財政運営については、今後容認しがたい段階に達しているの

で、以下、主要な要望を付しておきたい。

一、今後は、足立区政に関する世論調査等でもつねに区民の方々からの要望の強い、老人福祉の充実・交通網の整備・保険医療の充実などを優先する財政運営に努めること。

一、平和行政を確立すること。

一、予算執行率の向上、超過負担の解消に努めること。

一、同和対策の拡充を図ること。

一、保険料等の収納率を高めること。

一、外国人に対する施策を確立すること。

一、災害対策及び駐車場対策の一層の強化を図ること。

足立区民連合

認定

健全な財政運営を高く評価する決算説明資料はより一層工夫を

平成2年度は、行政改革も減量型から活性化に移行した年であり、行政改革の成果をまちづくりと人生80年時代の仕組みづくりに生かし、かつ、時代を先取りした施策が着実に実現された年であった。

その結果として、下水道整備の普及率が76％となり、都市計画道路も用地取得の難しい問題を一つ一つ解決しながら着実に進められた。一方で、佐野特別養護老人ホームの建設、西部障害福祉総合センターの建設、あいあい公社の設立など福祉サービスの総量が拡大されたことを高く評価している。財政運営においても、実質収支比率7・0％、経常収支比率64・9％、公債費比率8・0％はいづれも妥当な水準を維持しており、健全な財政運営が計られていると認められる。

しかし、今後のために若干の問題点を指摘しておく。特別区民税の滞納繰越分が多額にのぼっているが、今後は徴収に一段と努力していただきたい。利子割交付金は予算現額に對して収入済額が大幅に上まわっているが、マル優が廃止され税制改革が実施されてからもう3年目になるので、もう少し経済情勢を的確に把握し予測をたてられるよう望む。特別区交付金は前年度より大幅に下まわったが、交付対象事業の拡大に努めてほしい。

歳出では、義務的経費が前年度比3・4％増となっているが、この主な原因は公債費の増である。将来財政の弾力性を失うことのないよう留意されたい。また、投資的経費は前年度より増えており、建設事業や用地購入などに積極的に努力された結果であると考ええる。また、積立金が多額にのぼると、好ましくない結果を招きかねないので十分留意されたい。

最後に、事業の内容及び執行のプロセスがわかるような白書的なものを資料として提出されるよう強く求めて、認定の討論を終る。



今定例会で可決した
意見書・決議 (要旨)

今定例会では、議員提出議案として、治水対策等の意見書2件と、暴力団根絶に関する決議が提出され、いずれも全会一致でこれを可決しました。件名及び要旨は、次のとおりです。

暴力団根絶に関する決議

暴力団のいない明るく住みよい環境を作ることは、足立区国民が等しく願うところである。

しかし、最近暴力団による対立抗争や拳銃発砲が繰り返され、世論の厳しい批判に挑戦するかのよう組織力を拡大し、新たな資金源を求めて社会各層に浸透してきている。その不当な行為はますます悪質巧妙化の傾向を強め、平穏な日常生活や経済活動に重大な脅威を与えている。

このような暴力団の存在は、平穏で安全な社会を希求する区民の願いを踏みにじるものであり、断じて許されるものではない。

国においては、先の第百二十回国会で、「暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律」の成立をみたところであるが、暴力団が存在しない足立区を実現するためには、今こそ区民が関係機関と一体となって、暴力団排除の運動を強力に展開していくことが何より必要である。

よって、足立区議会は、暴力団の根絶に向けた警察のより一層厳しい取り締まりを要請するとともに、これに協力し、

一、暴力団を恐れぬ。

一、暴力団を利用しない。

一、暴力団に金を出さない。

一、暴力団から不当な行為を受けたら、直ちに警察に通報する。

暴力のない、より安全で住みよい町づくりをめざして積極的な活動を展開するものである。右決議する。

足立区議会

治水事業の促進に関する意見書

治水事業は、国土を保全し、水害から国民の生命と財産を守り、活力ある経済社会と、安全で快適な国民生活を実現するための生活基盤の中でも、最も優先的に整備すべき根幹的事業である。

しかしながら、首都東京の東部低地地域に位置する本区の治水施設の整備状況は十分なものとはいえない。これまでに、台風や集中豪雨により、浸水や堤防からの溢水の被害が発生している。

近年の都市化の進展に伴い、本区の土地利用形態が大きく変化しており、河川が氾濫した場合には多大な被害が懸念されることから、「安全で快適なまちづくり」のため、うるおいのある美しい水辺環境の創造を考慮した総合的な治水事業の推進が急務となっている。

よって、足立区議会は政府に

対し、平成四年度から始まる「第八次治水事業五箇年計画」を策定し、現行計画を大幅に上回る事業費を確保するとともに、安全で豊かな国土を形成するためにも、最も基本的な事業である治水事業を強力に推進するよう強く要望する。

(内閣総理大臣、大蔵大臣、建設大臣 あて)

綾瀬川浄化問題に関する意見書

日本一の汚い川と永年言われ続けている綾瀬川も、その歴史の中で、東京、埼玉の東部地域の発展に大きく寄与してきた。

その綾瀬川浄化のため、これまでの行政努力及び企業努力には敬意を表すが、それをはるかに越える住居環境の変遷・経済活動の活発化により、生物の住めない悪臭と汚濁は住民の心を暗くし、行政に対する不信を招きかねない状況にある。

地球環境を守る高い理想のもとに、行政の前進の姿勢と近年の優秀な技術力によって、私共の願いを充分達成頂けるものと心より期待するものである。

よって、足立区議会は政府に対し、地域地区住民の悲願である綾瀬川浄化対策に関係省庁あげて取り組まれ、その実現に大きく前進されるよう強く要望する。

(内閣総理大臣、建設大臣、環境庁長官 あて)



本会議議席図

傍聴の際の参考にして下さい。



区議会委員会の傍聴方法が変わりました

今議会から、委員会傍聴の方法が、次のように変更になりました。

●傍聴できる人

今まで、請願・陳情の関係者が、その請願・陳情の審査のみ傍聴できましたが、今議会以降は、これら関係者以外の方でも傍聴できるようになりました。

●傍聴の対象

今まで、請願・陳情のみ傍聴の対象としていましたが、今後は請願・陳情に限らず、議案の審査も対象になりました。

●傍聴できる委員会

傍聴できる委員会は、足立区

議会委員会条例に基づき設置された次の7つの委員会です。

総務委員会

区民委員会

厚生委員会

建設委員会

都市環境委員会

文教委員会

交通機関誘致対策特別委員会

●傍聴できる人数

傍聴人の数は、1委員会につき17名を限度とします。

●傍聴の手続き

今までは、請願・陳情の関係者の傍聴を区議会事務局で受付しておりましたが、今後は、委



議会短信

今定例会初日の本会議開会前、本会議場において、議会ミニコンサートが行われました。

演奏は、区内の音楽愛好家で組織された「足立シティオーケストラ」の弦楽器団員15名の皆さんで、タクトは常任指揮者の汐澤安彦さんが振りました。

曲目は、足立区歌「わがまち足立」、モーツァルトの「ディヴェルティメントK136」、レスピーギの「アリア」、アンダーソンの「プリング・ブレンク・プランク」の4曲で、本会議開会前のひととき、議場が美しいハーモニで満たされ好評でした。

12月議会においても、初日の本会議開会前にミニコンサートを予定しておりますので、本会議の傍聴とあわせて、どうぞお聞き下さい。

意見の分かれた案件

(注) ○…賛成 ×…反対

件名	結果	会派名				
		自由民主党	公明党	共産党	社会党	区民連合
平成2年度足立区一般会計歳入歳出決算・平成2年度足立区国民健康保険特別会計歳入歳出決算	認定	○	○	×	○	○